

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)事業実施計画

計画主体名	計画期間
しまねけん 島根県(代表) おおなんちょう 邑南町	平成29年度～令和3年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
島根県農林水産部農村整備課	0852-22-5143	0852-31-6274	nouson@pref.shimane.lg.jp
邑南町羽須美支所事業部	0855-87-0224	0855-87-0552	hattori-isao@town.ohnan.lg.jp

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
農観連携・グリーンツーリズムの促進	<p>羽須美地区は、高齢化による農業の担い手が不足するなか棚田オーナー制度の取り組みを平成27年度から始め、初年度には7組の家族を受け入れることができた。</p> <p>また、棚田近傍の軍原キャンプ場への遊歩道を改修することによりキャンプ場を棚田オーナーとの交流の場として活用し、キャンプ場の利用者を増やしていく方針である。このような取り組みにより、棚田という地域資源を活用し、都市住民等への農山漁村の理解を促進するとともに農村で自然、文化、地元の人たちとの交流を楽しむ滞在型のグリーンツーリズムを通じて街づくりを行いたい。</p> <p>さらに都市住民と農村地域の人々との交流を楽しむ滞在(農泊)を推進していく。</p>

II 評価指標

第1評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法																									
交流人口の増加	400人増加	保全活動準備休憩施設利用者 計画区域における交流人口の増加数(人) = 計画区域外からの入込客数(人)(目標値②) - 計画区域外からの入込客数(人)(現状値②) = 延べ400人 - 0人 = 400人増加																									
		キャンプ場管理簿資料より引用																									
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">年度</td> <td style="width: 10%;">H26</td> <td style="width: 10%;">H27</td> <td style="width: 10%;">H28</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">→</td> <td style="width: 10%;">H29</td> <td style="width: 10%;">H30</td> <td style="width: 10%;">R元</td> <td style="width: 10%;">R2</td> <td style="width: 10%;">R3</td> <td style="width: 10%;">R4</td> <td style="width: 10%;">R5</td> </tr> <tr> <td>交流人口</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">事業実施期間</td> <td></td> <td>50</td> <td>150</td> <td>200</td> </tr> </table>	年度	H26	H27	H28	→	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	交流人口	0	0	0		事業実施期間				50	150	200	
年度	H26	H27	H28	→	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																
交流人口	0	0	0		事業実施期間				50	150	200																

第1評価指標の設定根拠
 保全活動準備休憩施設として位置づける軍原キャンプ場へ通ずる**遊歩道**については、老朽化により平成23年から休止中(休止前交流人口年間約140人)であるが、**遊歩道の 신설・改修**を行うことにより再開し、神谷工区の棚田オーナーが保全活動を行う際の拠点としたい。
 また地方版総合戦略として邑南町では、自立促進策を町内各地区で計画させ支援している。軍原キャンプ場のある『阿須那地区』では軍原キャンプ場を活用した事業を計画しており、その事業を活用しつつ交流人口の増加を目指したい。

第2評価指標(任意)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法									
雇用者数の増加	1名増加	保全活動準備休憩施設管理等に係る管理者 新規常用雇用者数(人) = (活性化計画により整備した施設における常用雇用者数(人)(目標値⑤) - 既存施設等の常時雇用者数(人)(現状値⑤)) = 1人 - 0人 = 1人増加									

第2評価指標の設定根拠
 上記「阿須那地区別戦略事業計画」(地方版総合戦略)を実行するため事務局職員を確保することが決まっており、その事業の中にキャンプ場の運営に係る事務もあることからキャンプ場に係る雇用の確保し持続可能な体制を目指したい。

第3評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法									
棚田オーナー参加者数	7組以上	棚田オーナーの参加組数 平成28年度 6組 → 平成29年度以降7組以上									

第3評価指標の設定根拠
 【(4)地域の食と農の魅力を活かした体験等の受入体制構築に必要な施設】
 棚田オーナー制度の取り組みを平成27年度より開始し、初年度は7組の家族を受け入れることができた。今後も都会の住人との交流を持続させ地域の活性化を図りたい。

Ⅲ 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性	備考
小規模農林地等 保全整備	羽須美 (神谷工区)	土地改良施設 の整備	用水路工 L=59m 湧水処理 L=126m	H29～H30	島根県	6,300	3,465	55/100	3,465	用水路等が未整備のため漏水や、湧水による田面の軟弱化などにより農作物の生育に支障を来している。 また、農業従事者の高齢化による農業生産力の低下も重なり、遊休農地が増加する恐れがあるため、本事業で用水路等を整備することにより棚田の機能を確保する。 これにより交流型農業が持続され、地域の活性化を図っていく。	棚田を荒らさないよう自然景観を守ることにより、棚田オーナー制度に加え、地域再生計画「SATOYAMAMOVEMENT拠点計画」に位置づけられた自然体験をしたりすることで周辺地域での農泊の取組効果を高める施設である。
自然環境保全・活用 交流施設	羽須美 (軍原工区)	遊歩道整備	遊歩道改修 L=75m 遊歩道新設 L=65m	H29～R2	島根県	28,700	15,785	55/100	15,785	本施設は、一級河川江の川の支流の出羽川沿いにあり、キャンプ、川遊び、魚釣りの自然体験など、都市住民との交流拠点施設であり、棚田オーナーが棚田の保全活動を行う際の準備または地元住民との交流事業を行う上でも、地域の活性化を図る重要な施設である。 その交流施設へ行く遊歩道の新設・改修をおこなうことにより、遊歩道の機能の改善を図り交流人口の増加、及び雇用の確保、農泊の推進を図っていく。	地域再生計画「SATOYAMAMOVEMENT拠点計画」に、自然体験や農泊を通して行う都市住民との交流を位置づけており、自然体験プログラムを行う重要な施設への遊歩道であり、農泊地域への集客力の増加や雇用増への寄与し「農泊」の取組効果を高める施設である。
合 計						35,000	19,250	55/100	19,250		

IV 他の施策との連携に関する事項

(交付対象事業別概要)

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等
地域再生法(平成17年法律第24号)第5条第1項に規定する地域再生計画に基づく施策	SATOYAMA MOVEMENT拠点計画	邑南町	邑南町では地域再生計画において、公民館単位の地域住民による人口減少対策のための地区別戦略が策定されている。軍原キャンプ場がある阿須那地区においても、キャンプ場を生かした自然体験交流事業や農泊など都市住民との交流施策を計画している。

